

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成27年12月7日（月）～平成27年12月13日（日）【第50週】の感染症発生状況

第50週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) RSウイルス感染症でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は19.06人と前週（13.76人）から増加しましたが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.31人と前週（4.30人）からほぼ横ばいですが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は1.19人と前週（1.18人）からほぼ横ばいで、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

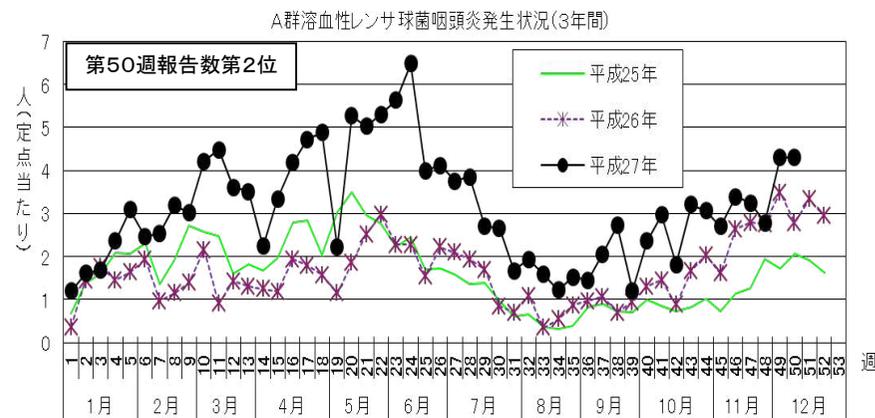
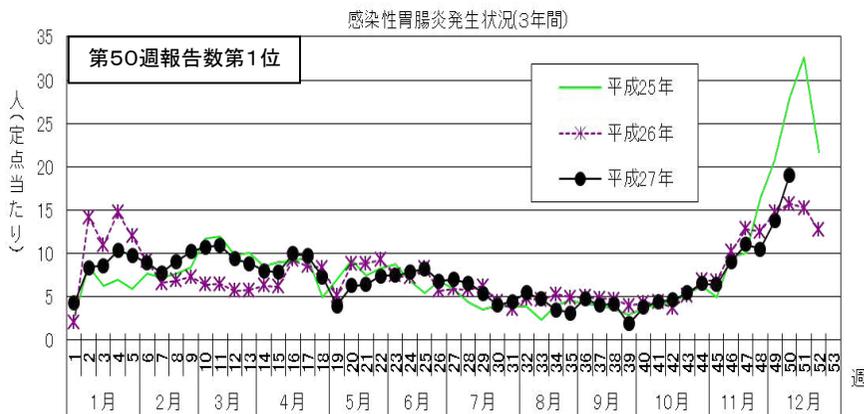
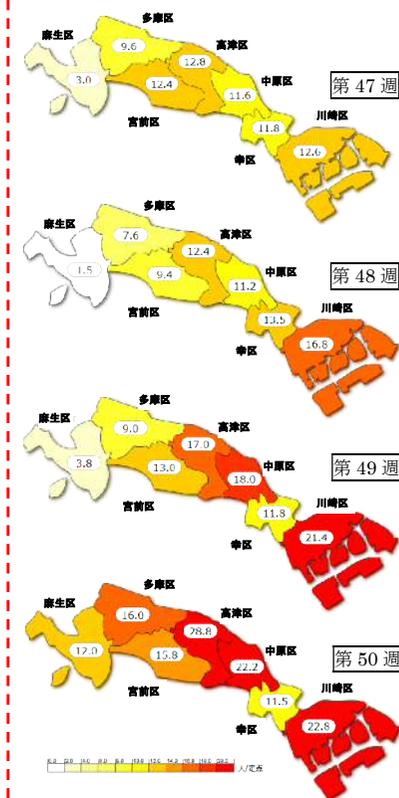


## 警報基準値はもう目前！！～感染性胃腸炎の流行～

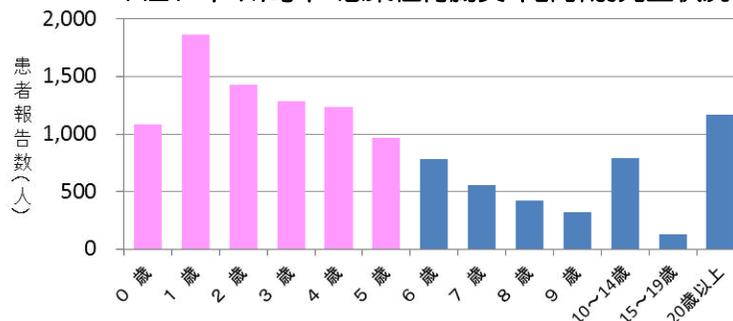
川崎市では、第50週における感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数が19.06人となりました。特に、川崎区、中原区、高津区では、すでに警報基準値（定点当たり20人）を超えています。

全国的にも報告数は増えており、感染性胃腸炎の主要な原因であるノロウイルスの集団感染事例なども報告されています。市内では、保育園や幼稚園に通う年齢層のお子さんが多くを占めています。

川崎市 感染性胃腸炎分布マップ



H27年 川崎市 感染性胃腸炎年齢群別発生状況



※消毒液の作り方は、第49週の「今、何の病気が流行しているか！」に掲載していますので、参考にしてください。